

授業科目名： 保育内容の指導法（音楽表現）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 坂田 映子 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、領域(音楽表現)における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 幼稚園教育における音楽表現のねらい、感性と表現に関する内容の理解 【到達目標】 (1) 幼稚園教育要領における表現のねらい及び幼児の豊かな感性と音楽表現内容について理解する。 (2) 10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と音楽的能力を育む音楽指導法を理解する。 (3) 幼児の音楽表現を育む音楽遊びの指導法を身に付ける。 (4) 音楽表現モデル指導案を活用し、指導計画作成の仕方を身に付ける。			
授業の概要 幼稚園「音楽表現」を指導するうえで必要な「幼稚園教育要領」の性格及び位置づけ、並びに教育課程編成の目的を理解する。その上で、表現のねらい、内容、指導計画の作成等について理解し、幼児が音楽に親しみ、歌を歌ったり、楽器を使ったりして様々な音楽表現活動が出来るようにすることを目的とする。具体的には、弾き歌いや音遊び、パネルシアター等の実際を学び、指導法を身に付ける。			
授業計画 第1回:「幼稚園教育要領」の性格及び位置づけ、教育課程編成の目的 第2回: 1.ねらい 2.内容、豊かな感性 第3回: 10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 第4回:「ダルクローズ」・「オルフ」等の音楽教育指導法及び「音楽づくり」の指導法 第5回: 音符、休符、記号、音楽構造についての理解 第6回: コードネーム及び簡易伴奏 第7回: 子どものうたと身体表現 第8回: 歌詞の意味と表情豊かな歌い方 （例:もりのくまさん・やぎさんゆうびん、トンボのめがね等） 第9回:リズム楽器等の特徴及び演奏の仕方 第10回:幼児の発達に合わせた「基本のリズム・模倣・カノン・ Rond」等とリズムアンサンブル 第11回:音遊びなどの音楽づくりの指導法 第12回:総合的音楽表現「パネルシアター」の視聴と指導法〔情報通信技術の活用を含む〕 第13回:音楽表現の指導計画と指導案 第14回:音楽表現指導案作成の仕方 第15回:振り返りとまとめ			
スクーリングでの学修 スクーリングでは、第1回～第15回を包括的に扱う。			
テキスト 1.文部科学省(2018)『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 978-4-577-81447-5 2.井口太代表編著(2018)『最新・幼児の音楽教育 幼児教育・保育士養成のための音楽的表現の指導』朝日出版 978-4-255-15627-9			
参考書・参考資料等 鈴木恵津子編 (2016)『改訂うたっておどって おもちゃ箱1』教育芸術社 97804-87788-613-4			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			